





授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/5	素 栄養学概論と栄養	1. 栄養学に対する従来の考えと現在の考え方の違いが説明できる。 2. 栄養学と他の学問を関連づけることができる。 3. 栄養素の生体における役割の概略が説明できる。	A P1~3。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	C-1-①②  必13-A-a, j 必16-A-d, e 必16-I-a, c 総Ⅱ-(Ⅵ)-1-A-a 総Ⅱ-(Ⅵ)-3-A-e 総Ⅱ-(Ⅵ)-3-C-1-a~c 総Ⅱ-(Ⅵ)-3-C-3-a, b
2	4/12	基礎代謝	1. 基礎代謝量の定義と測定法について説明できる。 2. 基礎代謝に影響を与える因子を説明できる。 3. エネルギー出納について説明できる。 4. 推定エネルギー必要量が説明できる。 5. 食物の特異的動的作用について説明できる。	A P2~3。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-②④  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-a
3	4/19	栄養素の機能	1. 糖質を分類することができる。 2. 糖質の消化・吸収が説明できる。 3. 解糖系、TCA 回路・五炭糖リン酸回路の役割が説明できる。 4. 糖代謝異常症を列挙できる。	A P19~29。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-②④  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-b 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-c
4	4/26		1. タンパク質を機能から分類できる。 2. タンパク質の消化、吸収について説明できる。 3. 窒素平衡について説明できる。 4. タンパク質の栄養価について説明できる。 5. アミノ酸代謝異常症を列挙できる。	A P33~39。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-①  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-a 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-b
5	5/10		1. 脂質の主な生理機能を述べることができる。 2. 脂質を分類できる。 3. 脂肪酸の構造と分類が説明できる。 4. 脂質の消化吸収について説明できる。	A P45~56。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-③  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-c 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-d
6	5/17		1. 脂肪酸分解とケトン体生成過程を理解する。 2. 細胞膜成分としてのリン酸脂質が説明できる。 3. リポタンパク質を分類しそれぞれを説明できる。	A P45~56。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-③  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-c 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-d
7	5/24		1. 無機質の機能の概略が説明できる。 2. カルシウムの吸収と血中カルシウム調節機構が説明できる。 3. カルシウムの生体内での作用が説明できる。	A P61~68。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	F-2-4)-(7)-①⑧  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-e 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-c, e 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-E-1-a, b
8	5/31		1. 鉄の吸収、体内分布、働きについて説明できる。 2. 主な主要元素、微量元素の生体内での作用が説明できる。	A P68~85。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	F-2-4)-(7)-①⑧  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-e 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-c, e 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-E-1-a, b
9	6/7		1. ビタミンの分類ができる。 2. ビタミンの過剰症、欠乏症が説明できる。 3. ビタミン A、D の生体内での作用が説明できる。 4. ビタミン K と止血機構について説明できる。	A P87~99。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-⑤ D-2-3)-(11)-④ F-2-4)-(7)-⑧  必8-C-b 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-f 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-d 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-D-a~d
10	6/14		1. 補酵素としての水溶性ビタミンが説明できる。 2. ビタミン C の作用について説明できる。 3. 貧血とビタミン B12、葉酸について説明できる。	A P99~114。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-⑤ D-2-3)-(11)-③ F-2-4)-(7)-⑧  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-f 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-d
11	6/21		1. 食品の二次機能、三次機能について説明できる。 2. 食物繊維の定義、種類、効用を説明できる。 3. 人工甘味料の種類と構造、特徴について説明できる。	A P5~17。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	C-1-③ D-2-3)-(4)-④  総Ⅱ-(Ⅰ)-4-D-a 総Ⅱ-(Ⅱ)-1-G-d, e 各Ⅴ-(Ⅰ)-5-B
12	6/28	準 食事摂取基	1. 栄養素の食事摂取基準の策定目的を説明できる。 2. 設定指標が説明できる。 3. 栄養素それぞれの算定基準を述べることができる。	A P29~32。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	D-1-1)-①~④  総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-a 総Ⅱ-(Ⅵ)-6-A-2-a, b
13	7/5	栄養と病態・疾患	1. 肥満の判定基準が説明できる。 2. 肥満を内蔵脂肪、原因から分類できる。 3. 糖尿病の病態、診断基準について説明できる。 4. 高脂血症の病態生理について説明できる。 5. マラズムスとクワシオルコルについて説明できる。 6. メタボリックシンドロームの概念が説明できる。 7. 内蔵脂肪と病態の関連が説明できる。	A P116~126。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	F-1-6)-(2)-④⑤  総Ⅱ-(Ⅱ)-4-H, J 総Ⅱ-(Ⅲ)-3-D, E 総Ⅱ-(Ⅵ)-6-A-4-a~d
14	7/12	合学習	1~13回までの重要事項を述べ、それぞれ関連づけることが出来る。	A P116~126。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理	
15	( / )	ふり返り総				